

4班

鎌倉の歴史と食



★高德院★

☆鎌倉大仏☆

〈特徴〉

総高…13.35m

重量…121トン

大仏の中に入れる(有料)

〈歴史〉

最初は北条泰時が木像で、1243年に完成した。
だが一度台風によって崩壊。

↳新たに青銅製の大仏の鑄像が始められた。

(1252年)

↳しかし、大地震によってまた崩壊。(1498年)

↳そして江戸中期に復興した。



☆高德院 & 高德院付近☆

〈特徴〉

“高德院”

左下の写真のような美しい自然が見れる。
秋には紅葉やイチョウ、
春には桜が見れる。

“高德院付近”

右上の写真のように自動販売機の色が決まっている。
店の色や和風か、洋風かは統一されていない。



★由比ヶ浜

〈歴史〉

海水浴を由比ヶ浜でレジャーとして楽しむようになったのは、明治時代になってからのこと明治の中頃に入ると汽車が開通し、由比ヶ浜でおしゃれに海水浴を楽しむ人々が見られるようになった



〈感想〉

実際に由比ヶ浜を見て海がとても綺麗でさらに砂浜で貝殻が埋まっていた。

★魚かま



「海鮮丼」などの丼物を中心にお食事をご提供するお店です。



釜揚げしらす丼（温泉玉子付き）
 鮭しらす丼温泉玉子のせ
 いくらと釜揚げしらす丼
 本ズワイ蟹と釜揚げしらす丼
 ウニと釜揚げしらす丼
 釜揚げしらす&生しらす丼

〈感想〉

今まで食べたイクラ丼より美味しかった。



★鶴岡八幡宮

〈歴史〉

鶴岡八幡宮の歴史は、源頼朝公の祖先・源頼義（みなもとのよりよし）が、由比ガ浜に源氏の氏神として八幡神を祀ったことから始まります。その後、1180年に源頼朝公が現在の場所に遷して、現在の鶴岡八幡宮の基礎が造られました。鶴岡八幡宮は神社としてだけでなく、鎌倉の町づくりや文化発信の拠点としての面があります。

〈感想〉

大きい建物がたくさんあって、境内がとても広くてすごいなと思いました。

普段見かけない白い鳩がたくさんいて驚きました。



★小町通り



〈歴史〉

昔は「瀬戸耕地」と呼ばれる農道で、1889年（明治22年）に国鉄が開業し市街化が進み今の形になった。

〈食べ物〉

メンチカツや大仏焼き、りんご飴、海鮮丼などが人気。甘いものから、しょっぱいものまであるので長時間食べ歩きしても飽きない。

〈感想〉

いろんなお店があって歩いているだけで楽しかった。美味しいものを食べられてよかった。



あしがき

- 長い歴史がある鎌倉には歴史的な建物がたくさんあって歩いているだけで楽しかった。また、歴史的景観を守るための工夫を見つけることができた。
- 一番の見所の鎌倉大仏は想像以上にでかく、高德院に入ったときにももらった大仏についての説明が書かれた紙のおかげで、詳しいことを知ることができた。
また、社会の勉強として、高德院付近の歴史的景観に関係していると思うことを見つけることができた。
- 新鮮な食べ物を食べてとても美味しかった。

● 鎌倉には、新鮮な食べ物や歴史的な建物や人物などがあり歴史について少しは学べた。大仏を見に行ったときにとっても大きくて大仏の裏には穴みたいなのがあってびっくりした。

● 鎌倉には景色に合わせてコンビニや自動販売機の色が違って驚きました。観光できるところもまだまだたくさんあって行ってみたいなと思いました。初めて行く所なので少し心配したけど道に迷わずにいろいろなところに行けて楽しかったです。